

学 識 経 験 者 の 意 見

愛知教育大学大学院教育実践研究科特任教授 恒川 武久

総括的には、明確な政策方針の下、教育委員会会議や活動、事業が適正に実施されていると認められる。特に、各活動や事業に対して点検・評価する中で、成果と課題を明らかにし、改善策まで付記している点は評価できる。

活動及び事業をより効果的に取り組むためにも、指標を設定し、蟹江町の教育の充実・発展を図られることが望まれる。客観的で科学的な行政運営が求められている時代を考えると、点検・評価の数値化を図っていく必要がある。なお、これまでの取組（前年度及び前々年度）を記載されると、事業の改善点が明確になるので検討してほしい。

教育事業は短期的な面での推進と継続的な活動展開の両面を持っているので、長期的な見通しをもった企画は欠かせないものである。今後も、教育行政は適正な事務執行だけでなく、企画調査機能の充実を図ることが望まれる。

以下、各種事業について意見を付し、まとめとする。

<学校経営>

学校経営の評価と改善については、よく努力し、次年度への改善策が明確になっている。いじめ・不登校の取組については、学校と教育委員会が連携を取り、一定の成果を上げている点は評価できる。各学校はその対応等のマニュアルを作成しているところであるが、常に、見直しと点検に努めてほしい。

<教育課程>

学習指導要領の内容を適切に実施している。生徒指導上の問題については、小学校と中学校との連携を図る中で、解決する努力をしてほしい。

東日本大震災以来、災害時の対応に人々の関心が集まっている。この機に安全教育及び安全指導の在り方を再構築し、改善を図ってほしい。

<蟹江町給食センター>

給食センターが、衛生管理・調理環境とも好ましい基準の下で運営され、安全・安心な給食の提供がなされている。さらに、食育の充実とともに一層の地産地消の推進を図ってほしい。

<生涯学習>

生涯学習・文化活動の拠点として、場の提供と各種講座を開催していることは評価できる。今後も十分に町民のニーズに応えられる取り組みが望まれる。

また、総合型地域スポーツクラブが設立され、2年目となり、会員の加入も増加し、順調に運営されてきているが、課題も浮き彫りにされていると思われる。さらに、充実発展するよう努力してほしい。

<図書館>

方針にそって、資料整備及びクローバーTVでの放送やホームページへの掲載増等のサービスが推進され、成果を上げていることは評価できる。さらに、子どもから大人まで読書に親しむ活動が充実するよう事業の拡充を図ってほしい。

学 識 経 験 者 の 意 見

名古屋芸術大学人間発達学部講師 伊藤孝照

1 教育課の事業について

各小中学校において、校長の学校経営方針に基づいた学校経営が自己評価をしながら行われ、新学習指導要領による教育課程が適切に実施されていることは、評価に値することである。しかし、報告書では、「全ての小中学校で標準時間数を確保でき、各教科とも履修内容については全て履修できていた」とあるが、教科学習はどんな状況で行われたのか、どんな成果が上がっているのか、学力の向上の様子はどうか等のことについては触れられていないのが残念である。

町内 3 小中学校に県教育委員会から委嘱された 3 事業は、将来の夢を持ってない若者や言語活動が不得意な学生が多い中で有効な活動であり、それぞれ大きな成果を上げられた。また、昨年度から実施されている小学校の外国語活動についても、授業で A L T を多く活用し、生きた外国語のコミュニケーション能力を養う努力がなされている。ただ、担任教師が A L T 任せになってしまわないように、自らも外国語の指導力を高め、担任教師が主導権を持った授業を進めてほしいと思う。

次に生徒指導に関して、マスコミ等で話題になっているいじめや不登校、暴力行為の問題に対して、学校が教育委員会や関係機関との連携・協力を行うことによって問題の早期発見・早期対応に努力していることは素晴らしいことである。しかし、そういう中で不登校が全国平均よりやや多く、中学校では 4 5 人であると報告されている。すでに解決済みとはいえ、いじめや暴力行為が数件おきている。このことについて未然防止や問題解決に全校体制で取り組んでいることはよいことである。それに加え、生徒指導について教師は各校において、問題の原因究明や解決策の研究はどの程度なされているのだろうか、不登校の生徒や問題を起こす生徒は、中学校生活に果たして満足しているのだろうか、学校での存在感はあるのだろうか、1 日 6 時間の授業（学校教育の中心）が「よくわかった」「面白かった」「今日の授業は頑張れたぞ」と勉強のやりがいを感じるものであったかどうか等々の課題について校内研修を徹底的に行うことが大切である。そして、各教師が明日の授業の教材研究をしっかりと生徒が満足する授業を行うことで問題行動は徐々に解消していくと思う。

2 生涯学習課の事業について

生涯学習に関わる多くの事業や活動が企画運営され、素晴らしいことである。その中で、「わくわく子育て教室」が何回か開催されていることはうれしいことである。家庭教育について、若い親が学ぶ場ができるだけ多く設定されるとよいと思うからである。今後も、多くの参加を呼び掛けてほしい。